

Hagio Toshiaki

萩尾 寿昭

フジコー 社長

KYUSHU
OKINAWA
TOP
FILE

2021

九州・沖縄を担うトップ群像

「光触媒事業が次の事業の柱に急成長」

MEMO

- 1973年1月15日生まれ
- 北九州市出身
- 九州大法学部卒

95年西日本銀行(現西日本シティ銀行)入行。2004年フジコーに転じ、事業所長などを経て、14年に専務、16年から現職。学生時代はバトミントンで腕を鳴らす。趣味はスポーツ観戦。軽いウォーキングと筋トレで健康管理。マラソンの川内優輝選手とアンバサダー契約を結んでいる。



明暗がくっきりと分かれたが、当社にとって大きな転換期に差し掛かっているのは間違いない。主力の鉄鋼事業は、自動車を始めとする製造業の鉄鋼需要が急減したことと、生産設備が一時休止するなど、生産が大きく減少した影響を受けた。余った人員の再配置に努めながら、需要の回復に備えている。一方、コロナ禍によって、大き

く成長を遂げたのが、光触媒技術を活用した空気消臭除菌装置の製造・販売事業である。鉄鋼で培った加工技術を生かして酸化チタンを吹き付ける技術を開発し、約10年以上前から商品展開していたが、なかなか軌道に乗せることができなかった。

しかし、世間の衛生意識の高まりを受け、除菌装置がにわかに注

目され注文が殺到、生産が追いつかない状況となっている。売り上げは今後も倍々で増える見込みだ。

かねてから新規事業のための技術開発は積極的に行なっており、2022年の当社創立70周年に合わせて、他社との協業で開発した円筒型太陽電池の事業化を目指している。こちらも大ブレークを期待しているところだ。